## 2024 年度 責任ある鉱物調達 デューディリジェンス報告書

# 多木化学株式会社

報告日 : 2025年4月16日

報告期間: 2023年9月1日~2024年8月31日

## 1.企業情報

多木化学株式会社は高純度酸化タンタルを製造する精練業者です。当社は精練拠点として本社工場(兵庫県加古郡播磨町宮西 346、CID:001869)を有しています。報告期間中、タンタルサプライチェーンは、責任ある鉱物保証プロセス(RMAP)に準拠した「責任ある鉱物マネジメントシステム(RMMS)」によって管理されています。

#### 2.前回監査について

多木化学株式会社の精練拠点(本社工場)は2024年10月10,11日にRBA-RMIによる「責任ある鉱物保証プロセス」に関する第三者監査を受審しました。監査期間は2023年9月1日から2024年8月31日とし、インターテック・サーティフィケーション株式会社によって監査が行われました。この結果、当社のマネジメントシステムはRMAPの監査基準に適合していることが確認されました。※監査報告書(Assessment Report)は付属文書をご参照ください。

#### 3. 方針

当社は 2018 年 7 月、OECD の「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのための デュー・ディリジェンス・ガイダンス(OECD-DDG)」に則り、「タンタルサプライチェーン方針」を制定しております(2025 年 4 月一部改訂)。この方針は RBA-RMI による監査の中でレビューされ、RMAP 監査基準に適合していることが確認されました。方針は、該当ステークホルダー(サプライヤー、顧客、従業員等)に広く周知しているほか、当社ウェブサイトからも入手できます。 ※タンタルサプライチェーン方針:

https://www.takichem.co.jp/products/chem/functional/pdf/tantalum\_JP\_2025.pdf

## 4.マネジメントシステムの概要

- ・ 当社では、品質保証部担当役員をトップとする責任ある鉱物マネジメント体制を構築しています。品質保証部長が管理責任者としてマネジメントシステムの運用管理を担当し、関連する部門長で構成される責任ある鉱物マネジメントシステム委員会および各課長・担当者で構成される小委員会を設置し、システム全体の意思決定、有効性評価を実施しています。
- ・ 当社のマネジメントシステムは、OECD-DDG および RMI-RMAP に則り構築され、これを運用 管理することにより鉱物サプライチェーンに係る企業の社会的責任を果たしています。また、 内部監査やマネジメントレビューを実施することでその適合性および有効性の維持・向上に 努めています。
- ・ 当社では、関係社員に対し、年次教育及び新任者教育を実施し、鉱物サプライチェーンにおいて当社が担うべき役割の重要性およびマネジメントシステムにおける各自の責任を認識させています。
- ・ 当社では、文書管理要領を定め、マネジメントに関連する文書については少なくとも3年毎 の見直し、また、記録については原則5年間の保管を規定しています。
- ・ 当社では、責任ある鉱物調達に関して通報処理システムを設けています。 苦情や通報がある 場合は管理責任者へ内容が伝達されます。 通報内容毎に、 OECD-DDG の Annex II リスクの

有無等を評価し、必要に応じてリスク低減措置を実施します。通報者の個人情報は目的外に使用されないよう保護しています。なお、当報告期間中、当社への通報はありませんでした。

- ・ 当社はサプライヤーのデューディリジェンスパフォーマンス向上のため、全ての直接サプライヤーとの間で、関連するデューディリジェンス活動の要求事項を文書にて合意しています。
- ・ 当社はお客様およびステークホルダーの求めに応じて、当社のサプライチェーン情報を開示しています。

#### 5.リスク評価

- 当社では、定期的および臨時的に、「紛争地域及び高リスク地域(CAHRAs)」を特定するプロセスを確立しています。Heidelberg Conflict Barometer, INFORM Risk Index, Fragile State Index, Control Risk Map, WGI, EU 規則 2017/821 第 14 条 2 項 CAHRAsのリスト等の情報源をレビューし、自社で定める判定基準を用いて、CAHRAsを特定します。
- ・ 当社では、全ての直接取引先および必要な場合は、さらに川上のサプライヤーを特定し、 RMI-RMAP に則った調査(KYC: Know Your Counterparty)を行っています。この調査結果 を基に取引可否判定を実施する手順となっています。当報告期間中、当社サプライヤーについて問題は特定されませんでした。
- ・ 当社では、1 次原料を調達する場合、まず、原産地およびサプライチェーンのレッドフラグ事項の有無を確認し、リスクレベルを判断します。高リスクサプライチェーンと判断された場合、OECD-DDG Annex II に示されるリスクの評価を行う手順です。コンゴ民主共和国及びその周辺国からの一次原料の購入に当たって、現地の鉱山、貿易業者等についてはiTSCi(ITA(International Tin Association) Tin Supply Chain Initiative)の会員であること、インシデント報告、監査報告などを確認し、取引可否判定する手順になっています。実際の取引については、全ての一次原料について、政府発行の原産国証明、税関の記録、輸送証憑などを含む文書類をレビューすることでトレーサビリティを確認しています。なお、報告期間中、一次原料の購入はありませんでした。
- ・ 当社では、2 次原料を調達する場合、RMI-RMAP の Annex V に定義されるタンタル製品のスクラップであることを確認し、受け入れています。当報告期間中、受け入れた原料はすべて 2 次原料でした。
- ・ 当社では、中間原料を調達する場合、RMI-RMAP 遵守スメルターに限定して購入することにしています。当報告期間中、中間原料の購入はありませんでした。

## 6.リスク低減

当社では、OECD-DDG Annex II に該当するリスク事象が確認された場合、その OECD ガイダンスに示されるリスク低減策を実施する手順になっています。リスクに応じて、サプライヤーに対して取引を即時停止したり、一次停止のうえ、是正勧告を実施したりします。リスクが高く、即時停止を選択した場合、リスク事象が是正されたことが確認できなければ取引を再開できない手順になっています。

なお、当報告期間中、当社サプライチェーンにおいては Annex Ⅱ に該当するリスク事象は確認されませんでした。



# RESPONSIBLE MINERALS ASSURANCE PROCESS ASSESSMENT REPORT

The flagship program of the RMI, the Responsible Minerals Assurance Process (RMAP), formerly the Conflict-Free Site Program (CFSP), takes a unique approach to helping companies make informed choices about responsibly sourced minerals in their supply chains. Focusing on a "pinch point" (a point with relatively few actors) in the global metals supply chain, the RMAP uses an independent third-party assessment of facility/refiner management systems and sourcing practices to validate conformance with RMAP protocols and current global standards. The assessment employs a risk-based approach to validate facilities' company level management processes for responsible mineral procurement. Companies can then use this information to inform their sourcing choices. For more information, please visit: <a href="https://www.responsiblemineralsinitiative.org">www.responsiblemineralsinitiative.org</a>.

#### I.ASSESSMENT SCOPE

Facility Name	Taki Chemical Co., Ltd.
CID Number	CID001869
Facility Address	346, Miyanishi, Harima-Cho Kako-gun, Hyogo 675-0145 Japan
Assessment Date(s)	10/10/2024 - 10/11/2024
Assessment Type	Re-assessment
Assessed Material	Tantalum
<b>Sourcing from High-Risk Supply Chains</b>	No
Assessment Cycle	1 year
<b>Assessment Period</b>	09/01/2023 - 08/31/2024
<b>Assessment Company</b>	Intertek

## II.ASSESSMENT OBJECTIVES

The objective of the assessment is to assess the facility's level of conformance with the Responsible Minerals Assurance Process Tantalum Standard of Tantalum 2017.

Indicate which	operations take place at the site and are under the same management control
	Mining
	Blending
	Solvent Extraction and electrowinning
	Smelting
	Refining

Dec 13, 2024, 5:16 PM





Other (please specify)

## III.ASSESSMENT METHODOLOGY

The assessment consisted of collecting and reviewing objective evidence including documentation, management and employee interviews, and other observations demonstrating that the facility/refiner's due diligence management system conforms, in all material aspects, to the requirements of the applicable Standard.

## **IV.CONCLUSION**

	The assessment was conducted in accordance with ISO19001:2011 Standard, taking into account the guidance provided by the Responsible Minerals Assurance Process. The assessor verified the scope, selected samples, and gathered objective evidence through documentation review, interviews, and visual observations.
	The assessor found that the facility's due diligence system are in conformance, in all material aspects, with the requirements of the Responsible Minerals Assurance Process Tin and Tantalum / Tungsten / Gold Standard of 2017, Cobalt Standard of 2021, Mica Standard of 2021, Joint Due Diligence Standard for Copper, Lead, Nickel and Zinc of 2021, Global Responsible Sourcing Due Diligence Standard for Mineral Supply Chains All Minerals of 2021, and the OECD Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High-Risk Areas.
	The assessor identified material non-conformance(s) between the facility's systems, processes and practices and the requirements of the Responsible Minerals Assurance Process Tin and Tantalum / Tungsten / Gold Standard of 2017, Cobalt Standard of 2021, or Global Responsible Sourcing Due Diligence Standard for Mineral Supply Chains All Minerals of 2021 and the OECD Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chains of Minerals from Conflict-Affected and High-Risk Areas.
	Material non-conformance(s) relate to:
sessor Stat	ements:
	The information provided by the facility is true and accurate to the best knowledge of the Assessor(s) preparing the report.
	The findings are based on verified objective evidence relevant to the time period for the assessment.
$\bigcirc$	The Assessor(s) have acted in a manner deemed ethical, truthful, accurate, professional, independent and objective.
	The Assessor(s) are properly qualified to carry out the assessment.
	There were no limitations to this assessment.